



うおづ 社協だより

Vol.178
2023 **11**

特集 災害救援ボランティアセンター 設置訓練をしました



もくじ	令和4年度事業報告・決算報告……………	P4
	ファミサポ協力会員募集……………	P5
	教えて!うおっしゃくん……………	P6



社会福祉法人 魚津市社会福祉協議会
 〒937-0801 魚津市新金屋2-13-26
 TEL(0765)22-8388・FAX(0765)22-8390
 E-mail:info@uoshakyo.net (代表)





災害時の大きな力になるために 災害救援ボランティアセンター設置訓練をしました



近年、度重なる自然災害が各地で発生し、被災地の支援にはボランティアの力が発揮されています。市

社協では災害時に魚津市と連携し「魚津市災害救援ボランティアセンター」を設置し、被災された方とボランティアをつなぎ、被災者の自立と生活再建、そして被災地域の早期の復興に向けて地域密着型の活動を推進することとしています。

9月24日に西布施地区で開催された魚津市防災訓練では「災害救援ボランティアセンター」の設置訓練を行いました。訓練に合わせて、今年の夏、県内各地で発生した豪雨災害にボランティアとして参加した活動を伝え、被災者に寄り添い、より適切な効果的な支援を行うための方法について検討しました。



連携して地域を守ります!!

魚津ライオンスクラフ

新川青年会議所

災害救援ボランティア活動等の人的支援、災害支援活動に必要な資機材の提供又は貸与を迅速かつ効果的に進めるため、両団体との間で災害時における連携に関する協定を締結しており、魚津市総合防災訓練での共同訓練や研修会開催など、平時からの連携に取り組んでいます。

いかわ信用金庫

9月19日、本多敏明理事長よりカセットガス式インバーター発電機が市社協へ寄贈されました。カセットガス2本で1時間発電できる優れもので、災害時、ボランティアの運営に大いに活躍します。



魚津市災害救援ボランティアセンターの流れ



ボランティアセンターの立ち上げ

ボランティアニーズの受付

住民の方々から「ボランティアさんに手伝ってほしい」ことを受付けます。受付けた内容の状況を確認し、ボランティア派遣(人数等)について決定します。

ボランティアの受け入れ開始

災害救援ボランティアセンターが設置されたことを広報し、ボランティアの募集をします。

ボランティア派遣当日

ボランティア活動者の受付



ボランティア活動者に受付票(氏名、連絡先、特技等)を記入してもらいます。

マッチング(活動紹介)



ボランティア活動内容を紹介します。ボランティア活動者の特技などを考慮し、マッチングする場合があります。

送り出し



活動場所、留意事項の確認、使用する資材などをそろえて出発します。

現地でボランティア活動



活動報告



センターに戻り、活動内容の報告、引継ぎをしてもらいます。

被災地を

応援したい方へ

災害ボランティア活動の始め方

被災地の情報確認

「とりあえず現地へ行く」と行ってみても、現地ではボランティアの受け入れ体制が整っていない場合があります。力を発揮できないばかりか、災害復旧作業の妨げになることもあります。求められるニーズは、災害や被災地によって異なりますので、SNSやウェブサイトで最新の情報を必ず確認してください。

被災地に負担をかけない準備が大切

●**ボランティア活動保険に加入しよう**
災害ボランティアに参加する際は、天災タイプ(地震、噴火、津波によるケガが補償の対象となる)の加入をお勧めします。保険料は500円で年度内有効です。活動の前日までに加入手続きをすませ、被災地に向かう際には証明書を持参してください。加入手続きは魚津市社協でできます。

●**持ち物の準備・チェックしよう**
災害の種類や活動時期によって活動時に必要な服装が違います。状況に合わせて服装・持ち物を準備しましょう。

ボランティアに参加する際の服装



トピック 災害ボランティアへ 行ってきました。

6月、7月に富山県内でも豪雨災害が発生しました。被害の大きかった市町村では、実際に災害ボランティアセンターが立ち上がりました。そのうちの1つである立山町へ、災害ボランティアとして当会職員が向かいました。

白岩川に近い被災地では、災害発生から十日ほど経ち、家屋の柱や基礎がむき出しの状態でした。泥のかき出し作業は一段落した頃でしたが、柱や基礎部分の泥落としと消毒等に参加しました。



災害救援ボランティアに
関するお問合せ
地域福祉課 ☎22-8388

子どもは魚津の宝です!

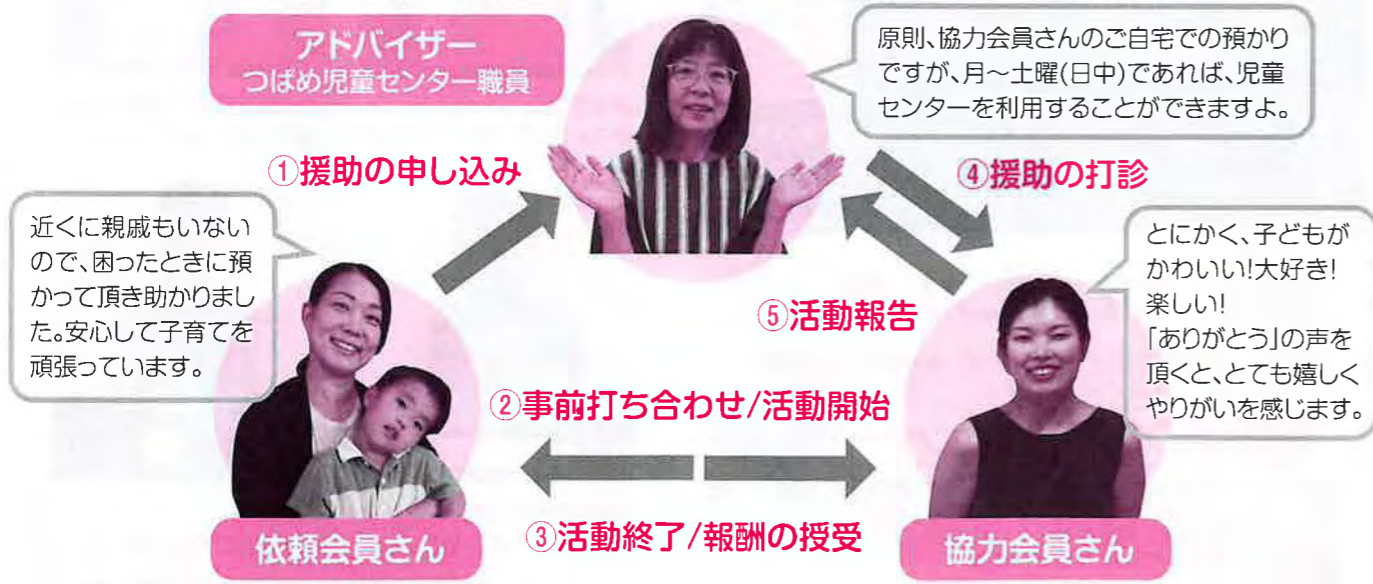
子育て応援サポーター 「ファミサポ協力会員」大募集



魚津市ファミリーサポートセンター(通称ファミサポ)は、子育ての「援助を受けたい人(依頼会員)」と、「援助を行いたい人(協力会員)」が登録し、一時的に子育てを助け合う有償ボランティア活動です。近年、核家族化が進む中、ファミサポの利用を希望する依頼会員が増えてきています。地域の子育て力を高めるため、ぜひ、あなたの子育て経験を活かしてみませんか。

<p>Q 協力会員になるには?</p> <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ●魚津市内在住、心身ともに健康な方であれば協力会員になれます。 ●万が一の事故に備えて、活動中の保険にも加入します。 ●「ファミサポ協力会員養成講座」を開催しています。ぜひ受講して下さい。 	<p>Q どんなお手伝いをするの?</p> <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ●親の用事(美容院、受診等)の際の預かり ●日曜日や祝日、親が仕事の際の預かり ●保育施設や放課後児童クラブ後などの送迎と預かり 	<p>Q 有償ボランティアってどういうこと?</p> <p>A</p> <p>活動を行った日に、「依頼会員」から「協力会員」へ直接料金を支払います。金額は時間帯等によって設定されています。当会ホームページをご覧ください。</p>
---	---	--

ファミリーサポートセンターの流れ



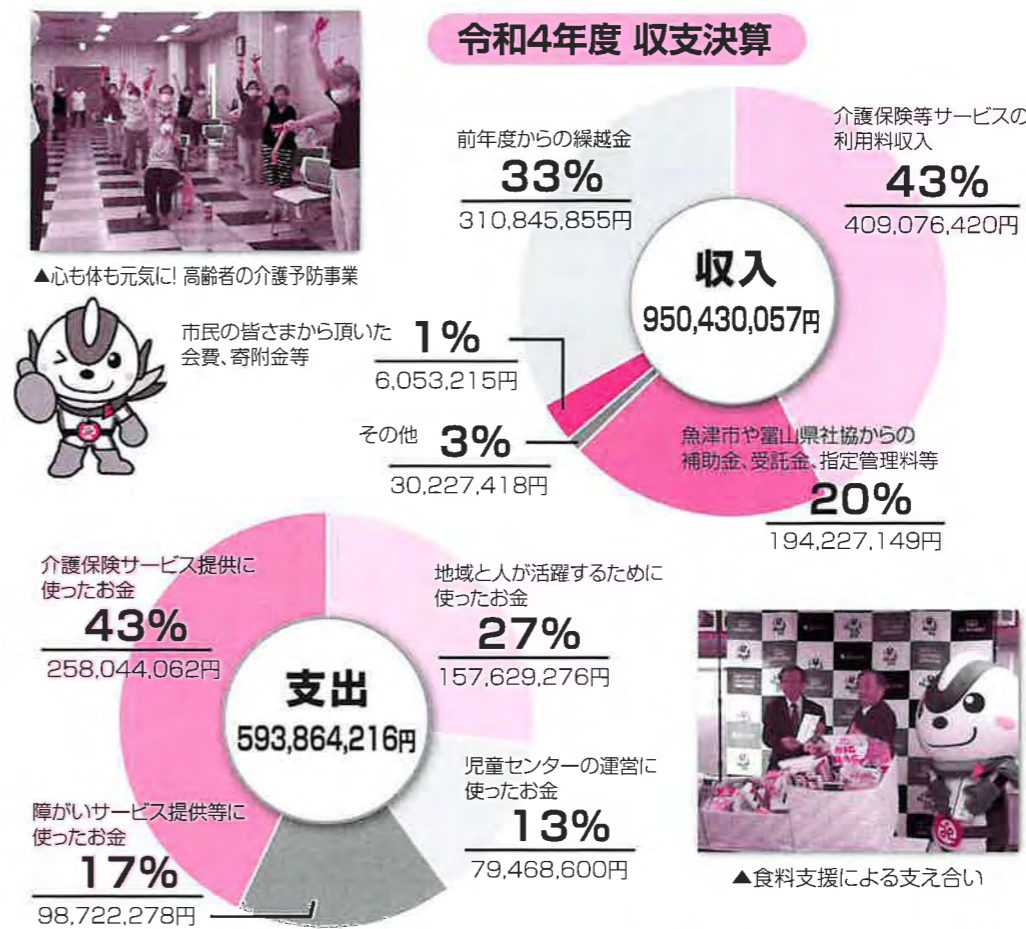
【お問合せ】 魚津市ファミリーサポートセンター(つばめ児童センター内) 魚津市新金屋1-12-50 ☎23-5133

令和4年度 事業報告・決算



少子高齢化、人口減少、家族や地域、社会の共同体機能が脆弱化する中、さらに新型コロナウイルス禍による生活様式の変化、物価高騰により地域住民が抱える課題も複雑化しています。これらの状況に柔軟に対応するため、子どもから高齢者、障がいの有無に関わらず、すべての人が地域での暮らしに喜びと満足を得られるようオール社協で取り組みました。

令和4年度 収支決算



収入-支出=356,565,841円は令和5年度への繰越金となります。

※詳細は当会ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

受賞おめでとうございます! (順不同敬称略)

魚津市の福祉の発展に尽くされた方々です。今後ますますのご活躍を期待しています。

魚津市社会福祉協議会会長表彰

- 〇民間社会福祉施設職員
 - 20年以上業務に精励し現在在職している方
 - 濱田さなえ(新川老人福祉会) 土肥 智也(本江児童福祉会)
 - 村井 夕子(魚津保育会) 佐々木真史絵(同)
 - 吉田沙也子(吉島保育園) 山田 香織(同)
 - 谷越 優子(同)
- 〇福祉推進員
 - 活動期間が10年以上の方
 - 武田 鈴子(加積地区社会福祉協議会)
- 〇社会福祉事業協賛者ボランティア活動実践者
 - 福祉またはボランティア活動を10年以上続け、その活動が優良な方、団体
 - 石倉シツ子(上中島地区社会福祉協議会)
 - 大村 良枝(魚津市更生保護女性会)
 - だんごご隊(魚津市ボランティア連絡協議会)
 - なかよし民謡サークル(同)
- 魚津市社会福祉協議会会長感謝状
 - 魚津善意銀行に多額の寄附をされた方、団体
 - (故)石坂 秋子 (故)山西 靖夫 (故)藤休 公作
 - (故)笠木 敏弘 (故)佐々木 洋 (故)清河 貢
 - (故)宮崎 信保 (故)石川 善通 (故)廣田 やい
 - 北陸労働金庫魚津支店地域推進委員会
 - 魚津保育会職員(同)
- 富山県社会福祉協議会会長表彰
 - 道下地区社会福祉協議会
- 富山県共同募金会会長表彰
 - ナインズ(NPAHA&Partners)

▲第72回魚津市社会福祉大会表彰式の様子

教えて! うおっしゃく くん



～シリーズ～
認知症

うおっしゃくくんからの アドバイス

東部デイサービスセンターでは富山県立大学看護学部と協働で、ユマニチュードによる認知症ケアに関する共同事業を行っているよ。認知症になっても豊かに暮らせる地域づくりのためにケア技術を高めるとともに、認知症理解に関する普及啓発活動にも取り組んでいるよ。なんでも相談してね。

東部デイサービスセンターではユマニチュードによる認知症ケアに取り組んでいます。

ユマニチュードとは、「人間らしさを取り戻す」ことを意味するフランスで生み出された認知症ケア技法で、今、日本でも注目を集めています。認知症の方は、介護者を拒絶したり、感情的になったりすることがあります。介護動作の中に、「あなたのことを大切に思っています」というメッセージを伝える技術がユマニチュードです。



▲7/30「ユマニチュード」インストラクターによる公開講座を開催しました

情報提供

東部デイサービス
センター
☎22-7772

クラウドファンディングで支援を求めています!

発達に凸凹のある子どもたちを インクルーシブ遊具で

(障がいがある子もない子も遊べる遊具) **遊ばせたい!!**



現在、魚津市社会福祉協議会では「魚津市立つくし学園」に代わる新たな新川圏域の児童発達支援センターを建設中です。

発達に凸凹がある子どもたちが通うこの施設に、障がいがある子もない子も遊べる“インクルーシブ遊具”を設置したく、皆さんのご支援をお願いします。

【目標金額】480万円

ご寄附は、現在建設中の(仮)新川圏域児童発達支援センターの屋外遊具整備費用に充てさせていただきます。

【支援方法】

クラウドファンディングサイト CAMPFIREにアクセス

当会にて直接寄附金の受付も行っています。

問合せ 総務課 ☎22-8388



抽選で
クオカード
が当たる!

プレゼントクイズ

災害時、被災地の生活再建のため、被災者と支援者をつなぐ役割をすることで何をしようか?

災害救援〇〇〇〇〇〇〇〇センター

ヒント
2~3ページ!

はがき、メールまたはFAXに下記の事項を記載のうえ、お送りください。抽選で5名の方へクオカードをお送りします。

①氏名②年齢③住所④電話番号⑤クイズの答え⑥「社協だより」の感想
応募締切 令和5年11月30日消印有効

応募先

〒937-0801 魚津市新金屋二丁目13番26号
魚津市社会福祉協議会 総務課 TEL22-8388 FAX22-8390
E-mail: soumu@uoshakyo.net

※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。



赤い羽根共同募金

子どもたちの 募金箱コンクール



今年も、たくさんのやさしさのつまった募金箱が集まりました。



最優秀賞
星の杜小3年 藤原 和花さん



魚津市共同募金委員会会長賞
道下小1年 金子 佑都さん



魚津市社会福祉協議会会長賞
道下小3年 金子 結菜さん



特別賞
道下小5年 延山 悠人さん

入選 星の杜小1年 窪田 成倅さん 同4年 内田 陽大さん
よつば小2年 大菅 真央さん 同4年 飯野 友結さん
清 流小3年 佐々木愛美さん